

日本共産党の躍進で、長野県から安倍政権の暴走に審判を下し、平和と県民のくらしを守り、真の地方再生の県政に転換を

2015年3月 日本共産党長野県委員会

●はじめに

●はじめに
昨年の総選挙では、安倍政権の暴走政治と正面から対決し、国民の立場に立って抜本的対案を示した日本共産党が躍進、「政治を変えよう」「平和とくらしを守れ」という世論と運動が広がっています。4月3日告示、12日投票でたたかわれる長野県議会議員選挙は、県民のくらしと長野の将来にとって重要であるとともに、国の政治にとっても大きな意義を持つ選挙と見られています。

1. 県議選の3つの争点と1つの選択

(1) 争点の第一 安倍政権の暴走政治に「ノー」の審判を下すのか、それとも容認し県政に持ち込むのか

先の総選挙で自民党が獲得した票は長野県で全有権者の14%、全国でも17%に過ぎません。しかし安倍首相は、選挙や各種世論調査で示された民意を無視して悪政の加速を「宣言」。消費税10%増税、TPP参加、原発の再稼働、秘密保護法や集団的自衛権の行使など、憲法をこわし戦争をする国づくりと地方衰退の「アベノミクス」に突き進んでいます。日本共産党がみなさんをお願いした「県民アンケート」では集団的自衛権行使は「反対77%と圧倒的多数になり、

(2) 争点の第二 県民の命とくらしを守るのかどうか厳しく問われている

日本共産党の「県民アンケート」には、3000人を超えるみなさんから回答が寄せられました。くらし向きが「苦しい」「やや苦しい」は87%にのぼり、県政は県民のくらしを応援しているかとの問いに69%の方が「不満」「やや不満」と答えています。県

なっています。日本共産党は今回の選挙で、安倍政権の暴走政治に長野県から厳しい審判を下し、平和とくらしを守るために、現有6議席から10議席以上をめざし全力で奮闘します。

(3) 争点の第三 もっと県民の声が通る県議会へ

自民党主導の「オール与党体制」となり県民不在のなれ合い県政が復活しています。子ども医療費の窓口無料化は、県民の要望が強く全国37都府県で実施されているのに、阿部知事は7万人余の署名があっても実施を拒否し続けています。福祉灯油の実施については「何度要請されても、やらないものはやらなく」と強弁しました。また原発の再稼働も事実上容認、高齢者福祉についても国いいなりに「自立自助」を押し付ける立場です。一方、自民党政府による公共事業のばらまきで県の土木費が増え、県の借金は史上最悪の1兆6千億円と年間予算の2倍に膨らんでいます。阿部知事は民主党が政権に

(4) 1つの選択 オール与党のなれ合い県政の転換へ、日本共産党が伸びれば政治は必ず変わります

あった5年前、自公が推す当時の副知事をやぶって初当選。「ゼネコン県政への後戻りにストップがかかるのでは」と期待が広がりました。しかしその後の4年間、県民の願いに背を向け、国いいなりに福祉の切り捨てと大型開発優先へと変質してきました。昨年の知事選挙では自民党が「骨太なレベルで自民党

の提起に積極的に応えても「らった」と安倍首相が推薦状を直接手渡し、自民党の全面支援を受けるにいたりました。阿部知事はいまや、自公政権による暴走政治に協力し

医療・介護切り捨ての「総合推進法」の撤回を求める意見書は、自民・民主・公明・中間会派の県議が反対しました。消費税の引き上げ中止を求める意見書も自民・公明・民主が反対し否決してしまいました。もっと県民の声が届く県議会へ、日本共産党をのばしてください。

①安倍暴走政治と正面から対決できる日本共産党だから、県民の利益第一でがんばります
日本共産党は県議団を先頭に、安倍政権がすすめるTPP参加阻止、原発の再稼働反対、秘密保護法や集団的自衛権の行使容認許すな、憲法9条を守るなど、広範な県民のみなさんと一致する要求で「一点共同」をすすめています。

②積極的に具体的な提案と草の根からの共同で、県民の願いを実現します
保護者のみなさんや先生たちと協力し、粘り強く実現をめざした少人数学級は、今では中学3年生まで30人規模学級が実現、全国トップクラスとなっています。深刻な非正規雇用の改善をめざし県に提案した「実態調査」は全国に先駆けて2度にわたって実施。「ジョブカフェ信州」での若者就労支援は、就職あっせんまでの全国的にも優れたものです。給付制の奨学金は、



県知事に2015年度予算要望をする党県委員会と県議団(14年11月)

透明度全国一と言われる政
務活動費の全面公開、公費に
よる議員の海外視察制度の廃

(5) 県議を選ぶ4つのモノサシ——県民の利益 第一でしっかりと働く県議を選ぼう

① 県民の願いをまっすぐ県政
に届け、その実現のために
働く人を

議員の最も大事な仕事は、
県民の願いを県政に届けるこ
とです。日本共産党のアン
ケートでも県議に望むことの
第一位は「県民の声を聞く」
(39.2%)でした。

多くの県民が実現を望む子
どもと障がい者の医療費の窓
口無料化は、実現を求める請
願が自民・公明・民主・社民・
中間党派によって棚上げにさ
れています。

② 県民目線で県政をチェック、
税金のムダ使いをやめさせ

止など議会改革も前進しまし
た。

金のムダ使いを県民目線で
チェックします。

③ 国にもしっかりとモノが言え
る議員かどうか

福祉の切り捨てと消費増税
など、県民のくらしを直撃し
ている大本に、自民・公明・
民主の3党合意で決められた
「税と社会保障の一体改革」
があります。TPPの推進や
原発再稼働など自公民3党は
基本的に推進の立場です。こ
れらの党では県民のくらしは
守れません。

④ 政治とカネの問題
政党を堕落させる「政党助
成金」、政治をゆがめる「企業
団体献金」。きっぱり受け取
りを拒否しているのは日本共
産党だけです。だからこそ一
切のしがらみなく「県民の利
益第一」を貫くことができます。

2. 県議選にあたっての

日本共産党の5つの重点政策

(1) 福祉とくらしの破壊から、国保、介護、 医療、子育て、教育優先の県政へ

○子ども・障がい者の医療費
の窓口無料化、1回500円
の手数料を廃止し、安心して
医療にかかれるようにします。

○国保税(料)・介護保険料
の軽減のため、県としても独
自の支援をおこない、市町村
の努力を応援します。大幅値
上げにつながる国保の県への
広域化に反対します。介護報
酬の引き下げを許さず、特養
の待機者解消をめざします。

○保育料の大幅な軽減をめざ

し、市町村の取り組みを支援
します。学童保育を充実しま
す。

○給付制の奨学金の金額と支
給範囲を増やし、抜本的に充
実します。

○地域経済活性化に抜群の効
果をもたらす住宅リフォーム
助成制度を抜本的拡充し、市
町村の取り組みも支援します。

(2) 地方経済の活性化・景気の底上げへ、 農林業と中小企業を応援

○地域商店街の再生へ、商店版
リフォーム助成制度の実現も
めざします。

○長野県を支える農業の再生、

中山間地と家族農業の応援を
強め、TPP参加阻止、農協
解体に反対します。市町村の
「奨励作物支援制度」を県と
して支援します。

○米価暴落の対策として、コ
メ農家全体を対象にした無利
子の融資制度を実現します。

○原発ゼロ・自然エネルギー

○御嶽山噴火により大きな打
撃を受けている観光業や農業
など地域産業への支援を充実
します。

○昨年(2011)の神城断層地震被災者
の支援を急ぐとともに、栄村
の震災被害や南木曾町の土石

○30人規模学級を高校まで拡
大します。高校生の通学費に
県としての補助を実現します。

○小中学校の保健室にク
ラーの設置をすすめます。

○どこでも安心して産がで
きる長野県をめざします。

(3) 災害被災者の支援・復興と自然災害に強い 長野県をめざして

○被災者への支援を充実
させ、復興を促します。

○被災者への支援を充実
させ、復興を促します。

○被災者への支援を充実
させ、復興を促します。

○被災者への支援を充実
させ、復興を促します。

○被災者への支援を充実
させ、復興を促します。

(4) 地方衰退の国の悪政と対決し、長野県の 力を発揮して本物の地方再生を

○地方の衰退を加速させる消
費税10%増税、社会保障の切
り捨て、雇用破壊、TPP推
進の「アベノミクス」ときっ
ぱり対決し、雇用の充実、農
業と林業の再生、モノづくり、
観光など「長野県の力」を発
揮する地域の再生をめざしま
す。

○リニア新幹線よりもくらし
応援で、生活道路、地域公共
交通の充実、福祉タクシーや
「買い物難」対策など本物の
地域活性化をめざします。

○鳥獣被害対策、中山間地の
自治本来の機能が発揮できる
県政をめざします。

(5) 戦後70年・被爆70年、憲法をくらしに生か し、全国と世界に平和を発信

○歴史の逆行を許さず、憲法
9条を守る運動の一層の発展
のために力を尽くします。

○平和への特別の思いがある
長野県には、自由に使える
基金(財政調整基金と減債基

金)が460億円もあります。
またリニア新幹線関連の道路

整備などで370億円もの県
費を使うといわれています。
県の予算は年間8600億円、
大型開発や不要不急の事業を
見直すなどすれば、「5つの
重点政策」は十分に実現でき
ます。

●むすびに

安倍政権の暴走政治とこれ
にくみする今の県政に未来は
ありません。

日本共産党と幅広い県民
のみなさんの共同で、新し
い政治をおこしましょう。

日本共産党は今度の県議選
で10議席以上をめざし、県民
が主人公の県政への前進をめ
ざします。日本共産党が伸び
れば政治は必ず変わります。
大きなご支援を日本共産党に
お寄せください。



県民の願いを実現する力をもっと大きく、史上最高の10議席以上の県議団をめざします。



長野市区(10)
山口のりひさ
(新)



長野市区(10)
和田あき子
(現)



松本市区(6)
両角 友成
(現)



上田市・小県郡区(4)
高村 京子
(現)



佐久市・北佐久郡区(4)
ふじおか 義英
(現)



岡谷市・下諏訪町区(2)
もうり 栄子
(前)



塩尻市区(2)
びぜん 光正
(前)



上伊那郡区(2)
小林 伸陽
(現)



飯田市区(3)
水野ちかあき
(新)



須坂市・上高井郡区(2)
土谷 ふみえ
(新)